緩和ケア

No. 2
2008/12/1　鶴岡協立病院
庄内プロジェクト推進委員会　発行

緩和ケアプロジェクトで使われる「マテリアル」をご紹介します。

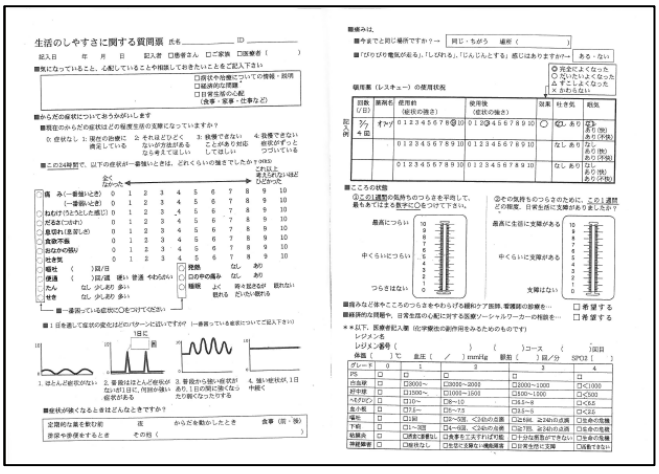
「マテリアル」とは患者様やご家族の方に緩和ケアを知っていただく為のパンフレットや冊子、医療技術向上のための資料などを言います。

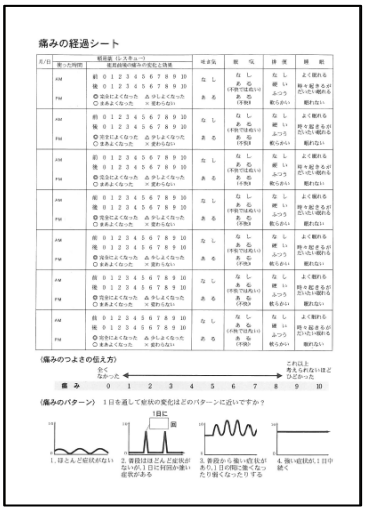
●在宅で苦痛なくがんの療養が出来る事を、映像でお伝えする「我が家に帰ろう」（DVDとVHS）があります。希望される方には無料で差し上げることが出来ますので鶴岡協立病院　外来受付や組織部職員にお申し出ください。

●また、先月号でご紹介した「緩和ケアを知る 100 冊」の貸し出しを行っています。絵本や患者・家族の闘病日記をはじめ、予防や治療法などの専門的な本もそろっています。鶴岡協立病院正面入口に本棚が設置してありますので、一度手に取ってみてください。貸し出しご希望の方は、受付職員に声をおかけください。

●緩和ケアについてわかりやすく紹介する冊子「あなたの地域の緩和ケア」やリーフレット「つらい時期を上手に過ごす」も、外来や各病棟に置いてあります。ご自由にお持ちください。

●「痛みの経過シート」・「生活のしやすさに関する質問票」・「疼痛の評価シート」は訪問看護や外来で患者様の現在の痛みの状態などを評価するためのツールとして、使用していきます。



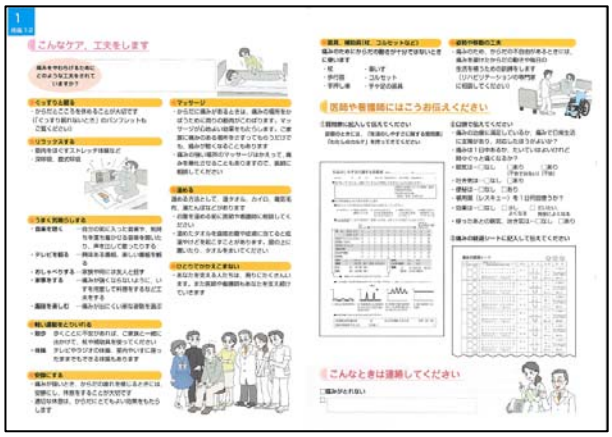


●患者さんやご家族の病状に応じてお渡しするパンフレットも全 12 種類あります。これらのパンフレットは、医療者やがん緩和ケアの専門家が、それぞれの患者さんの状態にあわせて、必要なことを書き込みながら、手渡しいたします。患者さんやご家族へ、各症状への対応をわかりやすくご説明するために作られました。

1、がんの痛みが心配なとき	7、お腹がふくれる、張るとき
2、医療用麻薬（モルヒネなど）をはじめて使用するとき	8、食欲がないとき
3、定期使用の鎮痛剤を使っても痛みがあるとき	9、からだのだるさに困ったとき
4、息切れ、息苦しさに困ったとき	10、意識が混乱したとき
5、吐き気、嘔吐があるとき	11、ぐっすり眠れないとき
6、便が出にくいとき	12、これからの過ごし方について

↓　（表）

↓　（裏）



　これらのマテリアルをご希望のかたは医師、看護師、相談スタッフにお気軽にご相談ください。また「緩和ケア普及のための地域プロジェクト（OPTIM）」のホームページもございますので（http://www.gankanwa.jp/）興味のある方はご覧ください。